



上木崎保育所「秋のお散歩～七五三のお参り」

みらい

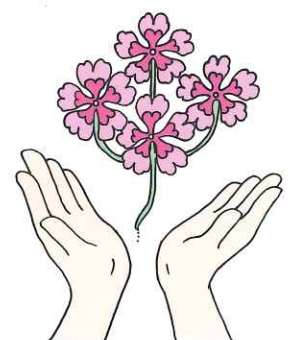
2021.2
〈特大号〉

23

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

顧問あいさつ…P2・3 会長新年あいさつ…P4・5
事務局活動報告／食育部活動報告／雇用対策部…P6
予算対策部／養成校との連携／民間保育所 医療的ケアモデル事業について…P7
調査研究部…P8・9 定例会 研修会報告…P10・11 研修部…P12
わくわくが いっぱい！／編集後記…P13 保育園紹介…P14



未来を担う子どもたちのために！ 今、皆様に伝えたいこと



さいたま市私立保育園協会顧問

わらしべ保育園統括園長 剣持 浩



ソーシャルディスタンス、新しい生活様式、一斉休校、登園自粛……新型コロナウイルスにかかわる問題が3月末から一気に日本を覆いました。半年過ぎましたが、冬にはインフルエンザとコロナ感染症の区別がつきにくいことで、あらたな問題が危惧されます。

この間、保育園をめぐって何が起こったか、そこらなが見えてきたか触れてみたいと思います。

保護者が、新型コロナウイルスで発見したこと

4月7日、緊急事態宣言が発令され、保育園は感染防止のため「登園自粛」を要請されました。東京の区部では休園にしたところもあります。さいたま市は5月末まで、約2カ月近く登園自粛が続くことになりました。こうしたことは日本の保育園の歴史始まって以来、初めてのことです。

自粛期間中、わらしべ保育園は120名の定員の中で、病院関係者や生活維持するために従事する関係者は保育園を利用せざるを得ません。25名から30名の子ども達が毎日登園していました。約25%です。この数字は他の保育園のさいたま市の調査でもほぼ同じ比率でした。

さて、この自粛期間中、家庭での様子はいつもと違う生活が生まれました。保護者が次のように書いてきました。

「……コロナに対しての怖さがわかるようで、また、大人がかかりやすいというのがわかっていて、私に『ママはおばあちゃんになっちゃおう？』『おばあちゃんにならないで』『ぼくずーっとパパとママといっしょにいるからね』と涙する事もありました」子どもなりにいつもと違う不安や戸惑いの中にいます。毎

日報道されるコロナニュースは感染率と共に、高齢者の死亡率が高いことを知り、子どもにとって“死”をより身近に受け止めたのでしょうか。

自粛生活の中で新たな発見をした方もいます。

「長い時間一緒に過ごすことがなかったので、幸せな時間でもありました。甘え、怒り、兄へのあこがれなどがわかり、密な一ヶ月でした」

「1日家にいるのは限界、外遊びの重要性がわかりました」

「上の子と下の子とこんなに違う事を発見しました」

「家で一日中なんて無理！と思っていたが慣れはスゴイ。もう大丈夫。笑顔が増えました」

大変だったこともありました。「テレビワーク」の保護者は、日中は子どもの面倒を見て、子どもが寝た後、夜中の12時から3時頃まで仕事と、日本の労働者は厳しい状況に置かれました。

「子どもが寝付いて0時から3時ぐらいに仕事、これが大変でした」

「下の階から苦情がきて困りました」

「家では泣いてばかり、ストレス最高、家の前が私道なので外で遊べて本当に助かりました」

「自粛になって、これまでなかったオネショが続きました」

それぞれ、さまざまな発見をする機会になりました。

保育園から発信

4月、新学期が始まってつかの間、登園自粛になったため、保護者と子どもたちとの関係づくりが課題となりました。保育園から子

どもたち向けに、踊りや絵本の紹介、メッセージなどを25で発信し、子どもたちも保護者にも大好評でした。また、3月に卒園した子どもたちは、学校が休校になり新しい生活に胸を膨らませていたのに入学式もできず、2か月にわたって登校できませんでした。ホームページで卒園生へメッセージを送りました。その中で、職員の姿をみて懐かしくて泣いた子どももいたようです。

日々の保育、コロナ以前は

保育の現場は、子どもたちの安全に気配りしながら、遊びの環境に配慮し、時期によって玩具の入れ替えや子どもの成長・発達に合わせた環境の整備を行っています。日々の仕事は、保育の記録、保護者への伝え合い、1日の生活のドキュメンテーション作成、打ち合わせなどに追われます。

遊ぶところと食べるところ、午睡するところが一つの部屋で行われる（子ども一人当たり0.1歳児は3.3㎡、2歳児以上は1.98㎡）ため、極めて、劣悪な環境といえるでしょう。こうした保育所設置基準が子どもたちと保育士のゆとりを奪っているのです。未満児クラスは食事中も食後も周りにはご飯粒だらけになります。机の上から椅子、床まで散らかっているのが後片付けが大変です。食べ終わった子どもたちの管理や排せつの介助、午睡の準備と息つく暇がありません。

子どもたちが寝付くと個別子どももののノートへ記入、睡眠チェック、記録や打ち合わせなど、休憩が取れない現状です。先日、市の監査があり点検表の「休憩を与えていますか？」に「いいえ」に○をつけました。「与えないといけません」と指摘されましたが、現在の基

準では休憩をとる条件が保障されていません、と申し上げました。監査指導課は「そうですね、ほかの保育園でも同じ状況です」と話していました。平均勤続年数12年以上の保育園にはフリー保育士の配置ができるようにチーム保育加算（1名）がありますが、これでは管理運営上の格差を生んでしまいます。子どもの人数に応じて、フリーの保育士が配置できるようにすることです。

コロナ禍自粛で、保育士は

0才児担任「日頃、子どもの生活リズムに合わせて、保育をしているので、子ども3人に保育士1名でも大変です。食事の介助や排泄の処理、職員から離れない子どもには抱っこやおんぶ、ミルクの準備や食事の片付け、昼寝の準備と目が回る忙しさです。今回の自粛で子どもの人数が少なく、対応に追われることも無く一人一人にゆとりと関わられました。そして、慌ただしい日々と違い、休憩も取れてゆとりとした気持ちで保育できました」と語っています。

1才児クラスや2才児クラスでは「子ども一人一人の姿をよく見ることができた。食事、排泄、着脱などさまざまな場面で丁寧に関わることが出来た。保育にも自分自身の心にも余裕が出来て子どもに向き合える時間が増えた。子どもの小さな事にも気づくことが出来た。ミーティングや保育の振り返り、後日の保育準備も、事務作業も就業時間内にできたことは大きい」と述べています。

幼児クラスでは「発達にさまざまな子どもや気になる子どもにも多くの時間、しっかりとかわることが出来たこと、余裕があることで今まで気づけなかった視点で見つめ直

すことが出来たこと、子どもの新しい発見ができたこと」と、述べています。

余裕を持つて子どもと向き合うことが豊に展開されれば、保育の質は高められます。

このように、新型コロナ問題は登園自粛により、日頃の保育を根底から見直すきっかけを与えてくれました。後ほどふれますが、日本の保育の現状は〇〇〇（経済開発協力機構）加盟37カ国の中で、日本の保育の最低基準はきわめて劣悪な環境にあります。その中で、私達は今、保育の質を高めるために、人的配置を含めた保育所の設置基準を改めて見直すべき時です。すでに、小中学校の関係者はクラスあたりの定員見直しの声が上がってきました。新型コロナは保育、教育の環境を、私達に見直すきっかけを与えてくれました。

保育園に求められていること

わらしべ保育園の4.5才児クラスは各クラス25名の定員で保育していますがここ3年、各クラス2名の正職員を配置しています（設置基準では4.5才児30名に対して1名以上の保育士を配置することになっています）。この配置にしたわけは、第一に気になる子や発達障害の子どもがここ数年増加していることです。小学校でも2012年の調査で6.5%いるといわれています。

さて、この自粛は新たな問題を提起しました。保育園設置基準の最低基準です。4.5才児は30対1、3才児20対1、の配置は諸外国に比べて大変劣悪で、まさに保育の貧困が明らかになりました。各年齢の児童数が1/4ぐらいになったことで、これまで経験したことがない、行き届いた手厚い保育が出来た

ことです。職員はこの違いに多くのことを学びました。学校も同じです。一学級あたりの児童数2年生以上40人により、時差登校、密を避けるために分離せざるを得ない状況を作り出しました。コロナ禍により、少人数による学習を保障することで、現在の学級定員が過密であるかを証明することにもなりました。児童福祉法ができて70年、最低基準は改善されることなく今日に至ります。緊急事態に対応する法改正、憲法改正などと言っている場合ではないのです。子ども達が大切にされない現状に怒らなければなりません。今すぐにも、日本の保育所、学校の生活と学びの環境をすぐにも改善することが必要です。今から35年ほど前に、私が属する教育団体で北欧とヨーロッパ（イギリス、フランス）の技術教育と保育実情の視察研修を行いました。イギリスの小学校に併設する保育所を視察した時、芝生のグラウンド、広い部屋、保育士一人に子どもが12、3名と、日本の保育とは雲泥の差でした。

保育園は子どもたち一人一人に、寄り添った保育と豊かな体験を保障する場でなければなりません。劣悪な保育環境を改善しないばかりか、園庭が無くてもビルの一室でも認可される現状、待機児童解消の一環として、小規模保育室（2歳まで）を拡大し、3歳児になれば追い出されて、行き場を失う子どもたち、こうした行き当たりばつりの政策を身近に見ながら、日本は子どもを大切にしない国と言わざるを得ません。私達はコロナ後を見据え、未来を担う子ども達のために、今私達がすべきこと、それは保育関係者が現状を憂うだけではなく、よりよい保育環境を保障するために、手を取り合うことです。

コロナ禍を受けて「おもいをカタチに」

一般社団法人さいたま市私立保育園協会 会長 **大野智子**さとこ

(あおぞらウィンクルム保育園)



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は、本協会の運営等に暖かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年も変わらぬご厚情の程よろしくお願いいたします。

昨年は、新型コロナウイルス・パンデミックによつて世界中が多く困難に見舞われ、働き方や生活様式など大きく変化し、正解のないその対応に振り回される一年となりました。

感染者数の増減に一喜一憂し、本稿を執筆しようと構想している最中、12月末には急速に感染者が再拡大し、令和3年1月7日(金曜日)～2月7日(日曜日)まで、1都3県に緊急事態宣言が発出され、1月13日(水曜日)には11都府県まで緊急宣言が拡大されました。さいたま市の成人式もオンライン成人式に変更するなど、本紙が皆様のお手元に届く頃には、どのような状況になっているかの想像もできません。

コロナ禍によつて大変な負荷と様々な感染状況等に対応すべく変容した保育を受け止めつつ、混乱する保育現場で、責任感をもつて、子どもたちや保護者に向き合ってくださっている、保育に携わる先生方のご貢献に改めて敬意と感謝を申し上げます。これからも、様々な制限が生じていることを理解しつつ、皆様と共に「子ども

たちの豊かな育みを守るため」柔軟に対応し、「保育の質を担保するため」にも、感染防止策など保育を取り巻く環境の課題に取り組んで参りたいと思います。

また、協会でも、オンライン会議の開催が多くなつて参りました。場所を選ばず開催できて便利ではありますが、会議本題のみで雑談が生まれず、新たなアイディアは生まれにくいように感じます。1日でも早く自由に往来できる日常を取り戻し、先生方と笑顔を交えてお話ができる日がやってくることを願つてやみません。

個人ができる感染対策として、マスクの着用・手指消毒・うがい・3密を避ける等の徹底が大事かと思ひます。昨年の11月19日の記者会見で、小池都知事が会食時のコロナ感染予防策として「5つの小」を提唱されました。①会食は小人数で②小一時間を目安に③小声でおしゃべり④料理は小皿に取り分けて⑤小まめに換気と呼び掛け、これらを守ればかなり感染は防げると言われていましたが、効果は見られませんでした。

今年も、新型コロナウイルス感染症との共存を余儀なくされるこれからの社会に課題はたくさんありますが、希望をもつて過ごしていきたいと思います。

話は変わりますが、今年の3月11日で、大規模な地震災害のあった「東日本大震災」から10年になります。ほとんど毎日テレビで流れていたCMを覚えていらつしやいますか？

『心』は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。

『思い』は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見える。その気持ちをカタチに！というACジャパンのCMです。

さいたまを代表する詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋です。たぶん先生方には、「ジングルベル」の訳詩者として紹介した方がピンとくるかもしれませんね。

宮澤先生は、埼玉県羽生市出身で、大宮市の教育委員長も務められた方です。

この詩は、被害に遭われ、大変な悲しみを抱え、厳しい避難所生活を強いられている多くの皆さんへの「思い」を、私たち一人ひとりがしっかりと胸に刻むとともに、その「思い」をしつかりと形(行動)に表していくことが大切なのだということを教えてくれています。とても心に響く素敵な詩なので全文をご紹介します。

『行為の意味』

宮澤章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか
確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為なのだから
あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

心に響くとしてもず、うれしい詩だと思っています。こんな状況だからこそ、私たちは子どもたちの育ちのためにすべき事、「子どもにとってどうか」という視点から考え、感染対策（感染拡大防止）のためにすべき事を検討していくことが大切だと思います。

どんな時代になっても、変えてはならないものがたくさんあると思います。コロナ禍により、一時的に人とのつながりが断たれ、物理的、精神的に様々な不安や苦勞が生じやすい状況がありました。こんな時代だからこそ、思いやりの心や人とのつながり

を大切にしていきながら、乗り越えていきたいと思っています。

最後に、今年は丑年です。

牛は古くから酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農作業を地道に最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になるといわれています。

2021年はコロナが収束し、皆様にとって希望に満ちた年になる事を願っております。



事務局活動報告

私たちは主に定例会や理事会の準備などの事務作業を行っています。

会員の皆様もコロナ禍での保育園運営に不安を抱え、ご苦労も多い日々が続いていることと存じます。このような状況でも会員の皆様が必要とする情報を、担当行政と連携を図りながら発信していくことは協会として大切な活動の一つです。それを実施するために、今年度はリモートでの定例会、研修会を実施しました。この状況が続く限りは、今後も皆様が安心して参加できるように検討をしております。

市内の私立保育園の数も増え続け、会員数も126園となりました。今後も皆様が互いに助け合いながら、安心して保育園の運営ができるよう、協会事務局として微力ながら支えていきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。



田仲先生 笠原先生 鹿野さん

食育部活動報告

令和3年も食育部は、給食調理従事者の方が現場で活かせるように、研修会等の企画を行っています。コロナ禍のため、不慣れではありますが、オンラインでの研修会等の実施をしていきますので、是非ご参加をお待ちしております。研修会を通して各園における栄養・調理業務のご参考になって頂ければと思っています。今年も食育部の活動に、ご協力をお願い致します。

●大量調理マニュアルに基づいた保育園の給食管理について

令和2年9月23日(火) あいぱれっとにて

講師：さいたま市保育課主幹 管理栄養士 福島 雅子氏

今回は、参加者の方々の感染症対策を実施しての研修会を行いました。令和2年6月1日施行(1年間は経過措置期間)の「食品衛生法等の一部を改正する法律」の施行に伴う集団給食施設の取り扱いに基づき、説明をして頂きました。また、「大量調理マニュアル」と「さいたま市保育園給食衛生管理の手引き」を基に、参加者の方々からの質問にもお答え頂き、現場の先生方の実践に即した内容となりました。

終了後も、個別に質問をされる参加者の方々が多くおり、こうした身近な相談にお答えできる研修会の重要性を感じました。

●「卵・乳・小麦を使わないアレルギー除去メニュー」

令和3年1月28日(木) あいぱれっと調理室 オンラインで実施

講師：あおぞらウィンクルム保育園園長 管理栄養士 大野 智子氏

今回、延期となっております。再開できましたら、皆様のご参加をお待ちしております。



【お知らせ】

協会でご手洗いチェッカーを1台購入して頂きました。感染症予防のための手洗いは大変重要です。職員さんへの園内研修などで是非ご活用下さい。お問い合わせは、事務局までご連絡下さい。



雇用対策部 ～次年度に向けて～

今年度は、コロナ禍の為、就職説明会については従来通りの開催は難しく、保育フェスは行わず、12/5(土)に就職説明会にオンラインと来場型を同時開催で行いました。

今後は就職説明会の方法、内容について、新様式を検討していきたいと思っております。現在、市内の養成校の授業の一環として、さいたま市私立保育園の保育園を知っていただけるような内容を検討し準備を行っております。

新 会 員 紹 介

社会福祉法人悠々会 まーぶる保育園

園長 … 山岸祐子 所在地 … 〒331-0812 北区宮原町1-533-3

社会福祉法人まあれ愛恵会 木崎たいよう保育園

園長 … 巨荻菜未 所在地 … 〒330-0042 浦和区木崎5-19-7

社会福祉法人なないろ会 いちごの花保育園

園長 … 栗原直子 所在地 … 〒336-0031 南区鹿手袋3-15-3

社会福祉法人はまなす福祉会 はれぞら保育園

園長 … 池田由美子 所在地 … 〒336-0015 南区太田窪3170

株式会社フロンティアキッズ つばき保育園

園長 … 高橋直子 所在地 … 〒336-0926 緑区東浦和1-13-5

社会福祉法人創人会 きらり白妙保育園

園長 … 笠原恵理佳 所在地 … 〒339-0028 岩槻区美園東1-6-11

予算対策部 ～令和3年度に向けて～

コロナ禍の状況下、各園対応に追われていることかと思います。予算対策部としても、理事会と連携し、各園の制度的な支援の充実・対応を引き続き要望して参ります。

国の方の予算組みが示され、来年度の流れが見えつつあります。人事院勧告のマイナス査定の影響から、令和3年2、3月の公定価格の減算が行われることとなっています。令和3年度の公定価格についても注視する必要があり、厳しい状況を想定した各園の予算編成を行う必要があらうかと考えられます。また、保育の各施策については、第三弾の50万円の補助の枠組みが示され、今後さいたま市としてもどのように対応するか働きかけ、状況の把握に努めて参ります。

令和3年度、新しい認可保育園が開設し仲間が増える中、保育士処遇に関してもしっかりと挙げていく必要があります。さいたま市、埼玉県へしっかりと声を出し、子ども達の処遇、職員処遇の向上を推進していきたいと考えております。皆様からも引き続きお声を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

養成校との連携 副会長 島村 和宏

2020年12月1日に大野会長、三須副会長、木村副会長、島村で大宮区の大宮こども専門学校にて「出前授業」を行ってきました。(木村副会長が担当している授業の時間で話をさせていただきました。)

大野会長からは分かりやすく楽しい「食育」の話をいただき、三須副会長からは「医療的ケア児」をテーマに現場での取り組みや思いを話していただきました。当協会が推奨する「叩かない子育て」についてもパンフレットを配布し話をさせていただきました。15～20分ずつの限られた時間ではありましたが、どのテーマも興味深く、私自身とても勉強になりました。保育の現場の声ということもあり熱心に聞いている学生さんが多い印象を受けました。個人的に驚いたのは授業後のアンケート等はQRコードを読み込みスマートフォンで回答するというのを当たり前のように行っていたことです。授業内でのICTの活用が進んでいることを目の当たりにし園内でのICTの活用の参考にしたいと思いました。

コロナ禍で保育士を目指す学生さんとの交流は限られていますが、今後もこのような形で協会の取り組みや私たちの思いを発信できればと考えています。

木村副会長、「出前授業」の実現のために、様々な調整やご協力等ありがとうございました。



【民間保育所 医療的ケアモデル事業】 令和2年4月1日開始しました

～いちご南保育園～

令和2年4月1日より医療的ケアの必要な子どもたちを預かるため「民間保育所 医療的ケア児モデル事業」がいちご南保育園にて開始されました。市内で医療的ケア児を預かる保育所は公立も含め初めてになります。

病気のための酸素、胃ろう、たん吸引などが必要な子たち。担当看護師がお子様の主治医と相談をしながら、ひとり一人のマニュアルを作成し対応を行っています。もつとも重要なことは、日々保護者とのコミュニケーションです。

■今まで在宅で過ごしていた子ども達が担当看護師のサポートを受けながらクラスにて安定した保育園生活を送っています。

・毎朝、登園してくると、お子さんのケアに必要な情報を日々保護者から受けながら、お子様の健康状態等聞き取り、連絡帳に毎日の様子を記録しています。

■医療的ケアが必要なお子様、何よりも日常的に医療的ケア児と誠実に向き合っている親御さんの心身両面へのケア支援をおこなっています。
・お迎え時には、保育園での1日の様子をお伝えしています。特に、お友達との関わりや保育経験は保護者にとって、何よりも待ち望んでいたことなのです。「お友達と一緒に遊びや関わりの機会を持たせてあげたい」との保護者の思いが実現しました。

■昨年の定例会では、いちご南保育園の担当看護師2名より、「医療的ケアと保育」の報告会がありました。主な内容は、医療的ケア児とは、医療的ケア児の理解、医療的ケア児の保育を実施しました。



調査研究部

新型コロナウイルス対応についてのアンケート

新型コロナウイルス感染症への対応として、各園苦慮されていることと思います。他園がどのような対応をしているのか？という声がありましたのでアンケートを取らせていただきました。126園中43園の方々にお答えいただきまとめさせていただきました。



自粛期間中について

在宅勤務を行いましたか？ ●行なった…31園 ●行わなかった…12園

在宅勤務を行なったと回答した方はどのように行いましたか？どのように人選しましたか？

- ・クラスごとに1～2人ずつシフトを調整した。 ・正職の職員に3日間ずつ与えた
- ・子どもの人数に合わせて、職員を減らした（公平に）
- ・小さいお子さんをお持ちの職員は多めに、他の職員はローテーションで。
- ・在宅中は書類や玩具作成をお願いした。
- ・在宅中は正職員は課題に取り組みタイムスケジュールを写真で送ってもらい、園長は一人ずつにコメントや励ましの言葉を毎日送った

登降園について

●通常通り園内に入ってもらった…25園

注意していること

- ・マスク着用、手指消毒
- ・保護者の前での検温（37.5℃以上受け入れ無し）
- ・短時間での送迎

●玄関での対応をしている…21園

注意していること

- ・長蛇の列にならないようにする ・マスク着用、検温
- ・連絡帳を活用しなるべく会話を避けてもらう
- ・園内放送を入れ玄関引き渡し

マスクについて

●職員が着用している…31園 ●職員と子どもが着用している…8園 ●マスクはしていない…2園

- その他…8園 ・咳をしていたり、気になる職員 ・子どものマスクは保護者に任せる
- ・3～5歳は必ず着用、2歳は出来る子、希望する子

給食について

●パーティション使用している…5園 ●間隔をあけている…23園 ●何もしていない…11園

- その他…10園 ・今までやっていた「パーティー・会食」は中止
- ・現在は生活が密なので人数は減らしているがパーティションははずした
- ・換気を十分し晴れの日には園庭やテラスで食べている
- ・向き合わないように机を横一列にして食べている

会議について

●行っている…42園 ●行っていない…1園

行っていると回答された方は、どのように行っていますか？

- ・広い部屋で、短い時間にて密にならず換気をしながら行っている
- ・各クラス代表者一名と園長・主任・フリー代表・給食代表の十名程度で行っている
- ・事前に議事録を入力し、参加者は各クラス一名ずつ参加
- ・16:30～なるべく短時間にし、参加は希望制とし議事録は一人ずつ配布
- ・オンラインで行った ・スクール形式にして間隔を取って行った



来園者の受け入れについて

●受け入れている…36園 ●受け入れていない…6園

受け入れていると回答された方はどのように受け入れていますか？

- ・事前に予約、約束をしている方のみ検温、消毒、マスク着用確認ののち受け入れ
- ・外部講師は9月から受け入れ
- ・実習生は実習前10日間アルバイト禁止（実習中も）、実習前に抗体検査を受けて結果を提出
- ・2週間前に来園者に用紙を配布し、健康チェックをしてもらう
- ・一時保育利用者は人数制限をしている

園見学受け入れについて

●受け入れている…37園 ●受け入れていない…3園

受け入れていると回答された方は、どのように受け入れていますか？

- ・土曜日のみ30分ごと2名までの受け入れ
- ・9月より1日2名までの受け入れ
- ・予約制にて、人数制限を行ない廊下から観てもらおう
- ・1日1名（大人のみ）お子さんの預け先場合は可
- ・子育て支援（月3日程度）に限定し受け入れている
- ・室内不可、園庭にて説明をし、クラスの様子はベランダから見学してもらう
- ・ホームページにて園内の紹介
- ・入口から中の子どもの様子や室内の様子を見てもらう（1名ずつ）

その他

園児や職員が、濃厚接触者や陽性の方がいた会員の方々の園での体験談（保護者への周知・自粛要請・園内の消毒等）お聞かせいただけたらと思います

- ・濃厚接触者の場合、2週間は自粛（陰性の場合も同様）職員、園児の家族に濃厚接触の疑いがある人は、PCR検査の結果が出るまで自粛してもらいより丁寧な消毒を行った
- ・濃厚接触者職員2名が発生し、保育課と密に連絡を取り合い、保護者に一斉メールにて登園自粛等の連絡をした
- ・「保護者が陽性反応」家族全員PCR検査をし陽性者は隔離。保育課、保健所へ直ちに連絡。個人が特定されないように保護者に周知
- ・個人情報ふせて連絡網で回す。初めは、「せめて乳児か幼児だけでも教えてほしい」今では聞いてくる保護者はいない。疑いのある人は休んでもらった
- ・園児が濃厚接触者になり、登園自粛要請を出したが、なかなかPCR検査が実施されず結果が出るのに1週間かかった。医療関係者や介護、警察等の保護者に大きなストレスがかかった

行事について

今までの行事について ●行った…39園 ●行っていない…4園

行ったと回答した方は、どのように行いましたか？

（例）無観客・DVDを撮る等

- ・日数を何日かに分けて行ったり、クラスごとに時間を分けて保護者の人数を制限し無観客にてDVDを撮って行った
- ・運動会は0～5歳で行っていたところ、今年度は3～5歳のみ1家庭2名までの入替制とした
- ・運動会は年長のみ1家庭2名の観客でおこなった
- ・運動会は0～5歳までの種目を2日に分けて実施し（同じ種目を）子ども1人に対して1人の保護者限定とし事前に人数調整を行った
- ・運動会は幼児のみ体育館を借りて行った

今後の行事について ●行なう…39園 ●行わない…2園

行くと回答された方は、どのように行う予定ですか？

- ・保護者、小学生の参加なしにて屋上にて実施予定
- ・クラスのローテーションで人数制限
- ・卒園式は保育園のホールで行い、1家庭2名参加で行う
- ・感染予防に努めながら各行事について慎重に進めていく予定
- ・行う時は毎回「中止させていただくこともあります」の文言を目立つように手紙に書き保護者に理解してもらう



今後、第3波が本格的に来ることを想定し園としてお考えのことがありましたらお聞かせください。

- ・引き続き感染予防に努めながらWITHコロナで保育をしながら進めていくしかないまた、職員の意識と心のケアに努めていきたい
- ・職員各自の行動に気を付ける様お願いをしている。（ライブや人の多い所は避ける）
- ・体調不良の場合は職員、園児、保護者全ての方対象にお休みをしてもらいリスクを減らすことを伝える
- ・早期情報確認と正しい情報公開に努めたい。また保護者のコロナに対しての認識が甘く保育園を安全な場所として保護者が休みなのに子どもはフルに利用すること等どうにか対応出来たらと思います
- ・職員が陽性になった場合、決して責めず差別なく対応していく。陽性者はメンタルの部分で相当ダメージを受けているので園長としてしっかりと支えていきたい
- ・『第2波の登園自粛はコロナ対策としてそれほど効果がなく逆に精神面での問題が起きていた』というはなしを私立保育園連盟の研修で学んだので第2波のような自粛要請はしない方向で考えている

ご協力ありがとうございました。

定例会 研修会報告

8月27日(木)「今後の保育情勢の見通し」 参議院議員 有村治子氏

有村治子氏は日頃より保育現場に足を運び、現場の生の声を各省庁へ届け、様々な課題を解決してくださっております。

今回は

- ・幼稚園から大学まで、学級閉鎖や休校等はあるのに保育園はなぜ無いのか？
- ・災害時にも開園をしなければいけない
保育所の園や子ども・職員の命・安全を守るためにガイドラインを明確化すること、
- ・保育をサービスとは言わせない、お金を払えばなんでもやってくれる？保育とはそうではない
というようなお話をいただきました。



10月15日(木)「最新の労務情報」 ゆびすい労務センター 平 幸次氏

- ・「今、保育現場で何が起きているのか？」ということで新型コロナウイルスの影響によるうつ病患者が急増している中での、園内の休職のルールや就業規則の見直しについて
- ・職員採用について他業種から保育士になる方も増えているので、他の業界と比較されやすいこと
- ・パワハラ防止法案法制化について
- ・「同一労働・同一賃金」による正職員と非常勤職員との待遇差の禁止・職務内容の明確化
などのお話をいただきました。



12月10日(木)「情勢報告」 衆議院議員 牧原 秀樹氏

- ・令和3年度保育関係予算概算要求の概要等についてお話をいただきました。
新規として「保育士の・保育の現場の魅力発信事業」「保育所等におけるICT化推進事業」、
現存の事業の拡充を要求しているとのことでした。また、会員からの「新卒者が紹介会社
を通して来ることにに関して規制できないものか」という問いに関して「厚労省へ現状報告し
ます。」との回答をいただきました。その他会員から「幼児教育無償化に費用をかけるより
も職員の処遇に費用をあててほしい。公定価格を下げずに」という意見も出されました。



12月10日(木)「心も体も叩かない保育」 浦和ひなどり保育園 丸山 和彦先生

認可保育所での児童虐待の問題が度々報道されており、園の危機管理としても非常に重要な問題です。令和2年に児童虐待防止法、児童福祉法が改正され暴行による体罰が明確に禁止されました。虐待・体罰を受けた子どもは心や健康への影響が出ています。虐待児相件数埼玉県はワースト3位、また他県で行った保育士へのアンケートで「体罰は必要か」に対して時として必要との回答が60%以上という現状があり、改めて我々保育者が襟を正さなければいけない時である、とお話をいただきました。特に園リーダーの立ち振る舞いが人間関係のお手本となるので、チェックリストを参考に明日から具体的なアクションを考えていきたいと思いました。当協会として「心も体も叩かない子育て」のパンフレットを配布しております。ぜひ積極的な広報活動にご利用ください。



心も体も叩かない保育 明日からの具体的なアクションを考えるアンケートのまとめ

	①園リーダーとしての立ち振る舞い (お手本として)	②心も体も叩かない園作りに向けて (園のマネジメント)	③さいたま市私立保育園協会への提案
1	保護者、お子さん、保育者に対して感謝の念を持って対応すること。	率先垂範、私自身が範を示すことを第一としていきます。	役員の皆様には感謝しております。 パンフレット、活用させていただいております。
2	誠意と感謝の気持ちを持って、園運営を行っています。対話は大切。職員の声に耳を傾けています。	叩かない子育てパンフを利用しています。	全国保育士会から出ている、保育所における人権擁護のためのセルフチェックリスト「子どもを尊重する保育」のための資料を使用しているアンケート調査及び研修を行っています。(保育士全員対象) 協会においても作って行くのはいかがでしょうか？
3	もっとたくさんの研修に参加したり勉強をしていけたらと思います。自分自身を大切にしていきたい。	子どもを中心に、職員同士の話し合いが出来るようにしていきたい。	
4	日頃より子育てに関する知識や認識を更新する。 園や職員、子ども、保護者の良い所を探し、相手の心持ちに共感し理解しようと努める。	園の理念や保育方針を職員に周知し、子どもの人権尊重など心も体も叩かない保育を園全体が理解する。 職員間のコミュニケーションの充実を図る。	
5	良いところを探す。(すべての人)ポジティブに幸せに生きる。	職務内容の軽減、見直しをしていく。 子ども一人ひとりに寄り添った保育を心掛ける。 チームワーク構築(人間関係の良好)	
6	子どもに対しても、職員に対しても、保護者に対しても、宝探しをしていけるように努めていきたい。 怒りはマイナスでしかないと考えられる。保育の質も下がるので、冷静に判断して指導していきたい。	チェック項目に自信を持って○をつけられたのが、2つしかなかった。体罰はもちろんのこと、子どもの気持ちを大切に、寄り添うことを心掛ける。 チェックリストをリーダー達で共有し、より良い人間関係を築けるよう努めていきたいと思う。	またの機会に、ぜひ丸山先生のお話をお伺いしたいです。貴重な時間をありがとうございました。
7	保育士のお話を吸い上げ、どこで時点で話し合う問題か？を整理する。(個人的な事、クラス運営、園全体として等) アンガーマネジメントが出来るよう、常に平常心を心掛け、平等な眼を持ち判断する。	昔の保育は通用しない事を年配の先生にもしっかり理解してもらい、園長の思い「楽しい職場、楽しい保育」を充分に行ってもらおう。「楽しい保育」をうまく指導できる先輩保育士の育成に力を入れる。	自分の子どもを育児できない親の増加(自分が休みでも登園させるのは当たり前!)は、当園だけでしょうか？ 虐待をしてしまうより分離させた方が良いのかも分かるのですが、保護者にも「心も体も叩かない子育て」をしてもらうには、我々はどうの様に働きかけたら良いのか？児相さんも大変お忙しいそうで、なかなかアドバイスまではいただけないので、協会としての研修をいただけると助かります。
8	声掛けの際の言葉遣いに気をつけ、まずは職員の心に寄り添う事を心掛けることを意識していきたい。 子ども達への接し方にも、感情的にならず、職員のお手本となるよう、日々自分を振り返り、良い点、反省点を把握し行動していく。また、仲間と一緒に仕事出来る喜びを持つよう心掛ける。	職員の心の余裕を意識し、園として共通意識が持てるよう、研修や会議を重ねる。また、職員同士で声をかけ合えらるよう風通しの良い雰囲気作りを目指すようにしていき、皆で気をつけていけるようにしていく。	
9	職員と共に保育の苦楽を共有できる環境づくり。 保育現場や保護者の悩み等に耳を傾ける。	保育士が保育を楽しんでいける様、精神的、体力的にも行き詰まらない様な雰囲気作りと、余裕を持って勤務が出来るような配慮が必要。	
10	人と接する時に「怒り」を排除していくことを意識していきたいと思います。激しい怒りのみでなく、小さな苛立ち等も意識にあげていくことが大切だと思います。	園の理念や保育の方針が全職員に浸透するよう研修を続けたいと思います。	今回のような良いお話を伺えると勉強になります。
11	しつけによる体罰の明確な禁止。力で人を動かすのではなく、良好な人間関係こそが人を動かす。年齢の高い人ほど注意。相手の気持ちに共感してあげる。	子どもの育ちにとって良くない。脳が委縮する。心身の発達にマイナス影響。 「体罰はしてはいけない。」「叩かなくても良い保育はできる。」 保育に正解はない。自分達で作り上げていく保育実践を積んで正解していく。良好な職員関係こそが正解。職員が働きやすい職場づくり。	人事異動で、来年度からマイナス査定になっているが、保育士は全産業の平均賃金水準と同等の給料水準になるまでは現状維持にして欲しい。

研修部

保育士・幼稚園教諭のための自然体験講座を終えて

①北本自然学習センター(令和2年8月4日)

- ・初めて参加の先生方が、ほとんどで楽しむ姿が多くみられました。
- ・新型コロナウイルス対策の為参加人数を減らし、今回は21名でした。
- ・机にも余裕を持たせ、1人又は2人座りと配慮がされていました。
- ・熱中症も心配しましたが、具合悪くなることもなくスムーズに行えました。

参加者アンケート

- 気温が高すぎなければ、散策の時間がもう少し欲しかった。
- 明日から使える知識や考え方等、沢山あり興味深かった
- 虫に苦手意識がありますが、子どもの興味や共感性を大切に一緒に楽しんでいけるようにしたいと感じた。
- 子どもと一緒に遠足に来たい。暑かったけど楽しく研修を終えることができた。
- 虫の生態や虫の持ち方等、普段観察では知りえないことを、たくさん知ることが出来た。子どもの好きな虫と一緒に見つけ様々な気持ちを共感したい。
- 園には自然が多くなく虫に興味がある子も沢山いるので接する機会を増やしたい。
- 虫の捕まえ方を教えていただき、面白いほど捕まえることが出来て感動した。園に戻ったら今日感じたこと楽しい!面白いといったワクワクを忘れずに共感していきたい。
- 質問に丁寧に答えて下さり有難うございました。共存を考えていけるように子ども達との対話を通して学びにしてゆきたい。
- ガの幼虫、カエルの皮膚の害等実際に写真を、見て参考になった。葉っぱジャンケンも楽しくその方とそれから話せるようになった。自然に触れられ更に楽しかった。
- 公園内でゆったりとした雰囲気癒され又好奇心がくすぐられた。良い気分転換にもなった。子供と一緒に興味を持つ、不思議がる、感動する時間を共有することを大切にしたいです。
- 蜂への対処法等園でも周知したり、子ども達に教えたいと思いました。自然に触れる機会が少なくなっていると思うので、意識的に自然に触れ合う機会をもうけたいと思いました。
- 今日の学びを持ち帰り職員で共有したいと思います。



②北本自然学習センター(令和2年10月27日)

参加者アンケート

- 過去に参加されたことがあるか。 ①初参加 22人 ②二回目 2人
- 講座の内容は、役に立ったか。 ①はい 24人 ②いいえ 0人
- 講座の時間は、適切だったか。 ①はい 24人 ②いいえ 0人
- 全体的な印象は ①満足 20人 ②おおむね満足 4人

5 お気づきの点・感想

- 葉っぱの叩き染めの体験がとてもおもしろかった。7人
- 生き物の事や植物のこなどいろいろわかってよかった。園でも子ども達と一緒に活動したい。2人
- 秋にクモ、蛇が出やすいということを初めて知った。2人
- 自然にじっくり触れたことがなかったので、良い時間になった。葉っぱのにおい、形、色なども観察しなかったので、自然に向き合ういい機会になった。5人
- 少しの時間でしたが、「自然を楽しむ」ことができた。3人
- 実際に自然に触れながらの研修で分かりやすく、楽しかった。2人
- 虫が苦手ですが、野外観察の後は、不思議と虫に感じていた苦手意識が減ったように思った。
- 子どもの成長にどれだけ自然体験が大切なのか、わくわくするものなのか、身をもって体験した。2人
- 子ども達と一緒に自然を楽しんでいきたい。



わくわくが いっぱい!

エンゼル保育園

お部屋の中から



お散歩いってらっしゃい!

東武第二保育園

だしで味わう和食



だしのおいしさに感動しました。試飲をした子どもたちから「おいしい」「お腹すいちゃった」と喜びの声が響いていました。

与野町駅前保育園

キノコって不思議



子どもたちと一緒にクヌギの木に種駒を植菌し、2年半かけて育ててきたキノコの原木栽培が実りました。時間と手間をかけて栽培したキノコを不思議な気持ちで大切に収穫していました。自分たちで収穫をしたキノコは肉厚で格別に美味しいキノコ汁になりました。

大宮みめま保育園

大きくなあれ!



ちゅうりっぷの球根を植えました。「はやくおおきくなつてね」と嬉しそうに水やりをする子どもたち、春が待ち遠しいです。

きらめき保育園

大きく育ったかな??



子どもたちが春に植えたさつま芋は、夏にお日様の光をたっぷり浴びてぐんぐんと葉を伸ばし、立派なお芋に育ちました! 掘ったお芋は、後日園庭で焼き芋にしてみんな美味しく食べました。

大成たいよう保育園

おひさまこんにちは



寒さに負けず、公園で楽しく体を動かす子ども達です。

あおぞらウインクルム保育園

み~つけた!!



園外保育で自然探し! 様々な葉っぱやどんぐり探しに夢中になっていました。

編集後記

コロナによる2度の緊急事態宣言、又市内保育園でも濃厚接触者や陽性者の報告が連日のように届いている中、各園共色々な対応にお疲れのことと思います。初めての事ばかりの1年でしたが、皆で力を合わせていく事の大切さ、そして力を合わせれば何でも出来るという事を学びました。

この広報誌「みらい」も、皆さんの力があってこそ作成できるものです。今年度はこの号だけの発行となりましたが、沢山の壁があったことで、逆に一人一人の思いが詰まった広報誌が出来たかと思えます。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございます。未来ほしの子保育園 佐々木

保・育・園・紹・介



大宮みぬま保育園

園長 橘 奈津恵

大宮みぬま保育園は、平成26年4月に社会福祉法人一樹福祉会の第3園として定員100名で開園しました。保育の心「あ・い・う・え・お」を大切にし豊かな心を育みながら保育をしています。（あ-愛情・い-意欲・う-美しい言葉・え-笑顔・お-思いやり）

子ども達は遊びが主体です。集団生活ならではの遊びや経験をし、人との会話を通じて心の繋がりを図りながら体と心の成長をしています。子ども達は興味を持ったことや発見したことを追求していきます。私たち保育者はその気持ちに共感し、集中して楽しめるように環境づくりや、子ども達自身が「やってみよう!」「楽しそう!」と何でも意欲的に取り組めるよう関わっています。

また、自分で考える力が身につくよう、子ども同士で話し合いや解決ができるように見守り、必要に応じて援助に入る等して、子ども同士の関わりを大切にしています。園庭は広く、子ども達は鬼ごっこや虫探し等、好きな遊びを見つけながら毎日のびのびと過ごしています。野菜や植物の栽培をしており、夏はトマトやきゅうり、ナス等を育て、冬にはちゅうりっぷの球根を植えて進級時に花が咲くことを楽しみにしています。生き物には命があることや、水やりを通して育てる楽しさや喜びが感じられるよう取り組んでいます。

また、どの年齢の子どもも体を動かすことが大好きです。音楽あそびやピアノの音に合わせて体を動かすリズムあそび、指導員による体育指導(幼児クラス)も積極的に参加しています。子どもは褒めてもらうことで意欲や自信をつけていきます。人間形成がされていく大事な時期ですので、日々の成長を認め、基本となる力をつけていながら安定した情緒の中で成長していけるよう保育を進めています。



西遊馬保育園

園長 宮崎洋子

本園は、平成26年4月に開園し、7年目を迎えている。園児数は、定員が90名のところ、89名が在籍している。職員数は、園長他、11月現在で看護師3名、保育士23名、事務員1名、用務員2名の29名で運営している。本園は、「心身ともに健やかな子」を育むために、子どもが安心して生活できる保育を目指し、職員一同笑顔で接し、温かな保育を進めている。特に本年度は、3つの「あ」を重点に取り組んでいる。1つは、あいさつができる子、2つは、遊びが上手な子、3つは、安全安心に生活できる子を育てている。1つ目のあいさつは、「おはよう。」だけでなく、友だちに何かしてもらったら「ありがとう。」とか、まちがえたときは「ごめんなさい。」とか、自分の気持ちを相手に伝えることを大切にしている。2つ目の「遊び」は、子どもたちが夢中になって遊べるよう、材料を工夫し、自然のものや身近なところにあるものを活用してできるもので遊んでいる。また、保育園のとなりの老人福祉施設と交流し、お年寄りの方に踊りや歌を披露したり、ミニ運動会と一緒にやったり、お年寄りの方々と楽しく活動している。最後に握手をして帰ってくる園児たちは、笑顔いっぱいになってくる。さらに、英語や空手の指導も行っている。3つ目の安全安心な生活では、毎月1回、防災・防犯訓練を実施している。

何回も実施しているので、「おかしも」を合言葉に、静かに早く避難できている。また、コロナ禍の中で、感染防止として毎日検温し、手洗い・換気・消毒に心掛けている。



未来ほしの子保育園 園長 佐々木 遵子

未来ほしの子保育園は平成26年4月1日に開園しました。

園庭には、芝の築山や桜・柿等色々な種類の木があり、限られた空間ですが自然に親しみながら思い切り遊ぶことが出来ます。子ども達が園庭で芝滑りやどんぐり拾い、みかん狩りやブルーベリー摘み等も楽しんでいます。毎年、園庭の木にはあけぼのの卵を産みに来る為、それを保育室で羽化させたり、大きなショウリウワバツやとんぼ等を捕まえてもしています。

屋内には、遊戯室にある壁一面のクライミングや12星座のステンドグラス、子ども達に人気の絵本室などがあり、楽しめる造りになっています。

姉妹園が、狹山市に3園あり、5歳児クラスは交流を行っています。春には木更津へ潮干狩り、夏には八ヶ岳へお泊り保育、秋には親子ハイキング、冬にはサッカー大会や雪あそび等を一緒に楽しんでいます。

保育の中では、英語教室・体育教室・すてっぷ教室(就学前教育)があり、大きいクラスの子ども達が参加をしています。その反面、園庭だけでなく、目の前にある三橋総合公園や近くの神社などへ行き、思い切り体を動かして遊んでいます。自然に触れながら、自分のやりたいと思ったことを思い切り楽しむ、自分で考え経験することで、子どもが育っていくことを見守りながら、日々楽しく過ごしています。



東浦和たいよう保育園 園長 元木 貴絵

社会福祉法人まあれ愛恵会は、平成14年開園の家庭保育室まあれ愛恵保育園をベースに、平成19年に定員60名の南浦和たいよう保育園を認可保育園として開園しました。

当園は平成26年に開園した定員80名の保育園です。法人の保育理念にあります「子どもひとり一人を大切に家庭的な雰囲気の中、園児自らが伸びる力を援助する」ことを念頭に置き、職員一同が同じ思いで保育しております。子どもたちの「こんなことをしてみよう」「あんなことに挑戦してみよう」という意欲を大切に、年齢に応じて様々な自然体験や季節の行事等を行い、大切な幼少期に多くの経験が出来る様、環境を整えております。また、園庭の他に「たいようこのひみつきち」と名づけた第二園庭と畑があり、のびのびと体を動かす事はもちろん、野菜や植物の栽培を取り入れ季節を感じられるようにしております。そして、法人内の保育園も現在17園となり、遠足やサッカー大会等で関わる機会が多くあり、子どもたちにとって普段関わることの出来ない多くの人との関わりが心の成長にも繋がり、多くの貴重な経験となっております。

今年で開園7年目となり、合計82名となった卒園児が夏祭りや運動会等の行事で大きく成長した姿を見ることも職員の大きな喜びとなり、これからも子どもたちが帰ってきたいと思える保育園づくりを大切にしていきたいと考えております。今後たくさんの方にご協力を頂きながら地域に根差した保育園を目指していきたいと考えております。